

守山まるごと活性化計画 河西学区 第3回会議

1. 実施概要

学区・回	河西学区 第3回
日時	2013年8月28日(水) 19:00~20:40
会場	河西会館
参加者	住民25人(小島1人、播磨田2人、今市2人、布施野2人、荒見1人、川中2人、笠原0人、中1人、田中2人、川辺2人、阿比留2人、川田1人、喜多1人、川西ニュータウン3人、河西ハイム1人、ラフィーネ守山2人) 濱崎先生、県立大学生1人 守山市(北野、川嶋、中野、坪内、吉原、足立) 地域未来研究所(田淵、山田、義浦、貞松、横山)
会場設営	5テーブルを配置。くじでテーブルを指定して着席。
実施経過	<p>1. 挨拶</p> <p>①開会挨拶(坪内主査)</p> <p>②開会挨拶(高野学区長)</p> <p>2. 説明</p> <p>①本日のプログラム内容(田淵)</p> <p>②第2回検討結果の説明(田淵)</p> <p>3. 意見交換(テーブル別ワーク)</p> <p>①前回のふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の会議結果を整理した資料を見ながら、抜けているたからものの追加、分類の再検討を行った。 ・「交流の場」の項目では、秋の集い、住民の集いの追加があった。 ・「自然」の項目では、キジ、アライグマ、たぬき、ハリオ、花畑、菜の花、あじさい、コスモスといった動植物の追加があった。 ・「水・湧水」の項目では、旧堤防、湧水の追加があった。 ・「農業」の項目では、家庭菜園の追加があった。 ・「神社仏閣」の項目では、八大神社の追加があった。 ・「人的資源」の項目では、お笑いタレント、子どもの笑い声の追加があった。また、「一流歌手」を「プロ歌手」に修正した。 ・「河西学区のたからもの」地図において、神事は農業の豊穰等を願うものが多いことから、「寺社仏閣」と「地域の特色ある農業」の関係性を追加した。また、「祭り・行事」と「健康やスポーツ」のたからもの地図での配置を入れ替えて、

わかりやすくした。

②学区のまちづくりの課題と方向

- ・学区が抱える問題点や課題については、各テーブルとも共通して少子・高齢化に関連した意見（地域間のバランスが崩れる、地域活動や行事の担い手・人材が不足、自治会活動に支障がでる等）が多くだされた。
- ・課題のカードは模造紙に貼り、グルーピングして概略の特徴を整理した。

4. 結果の発表・共有

- ・テーブル毎に参加者の代表が地域の課題、課題に対応するための方針について検討結果を発表。
- ・主な課題として、「少子高齢化・人口減少が進み、地域間でバランスが崩れている」「妙蓮や遺跡等の『たからもの』の活用・保全が不十分」「地域活動や行事の担い手・人材が不足」「新旧住民・世代間の交流が希薄化」といった内容があげられた。
- ・今後のまちづくりの方向として、「近江妙蓮を活用したはす祭りイベントの実施」「遺跡のまちとして遺跡をPR」「行事の担い手不足解消のために、負担を減らす」「狭い道路の解消のために、家を建て直す場合など市として方向性を示す」などの意見が出された。

5. コメント（濱崎先生）

- ・河西学区で高齢化がここまで課題として上がってくると思わなかった。湖北の限界集落では、空や家率が5割を越え、高齢化どころではなく、地域で空き民家をどう活かすかという取り組みをしている。
- ・河西学区でも高齢化が大きな課題ということであるが、みなさん前向きに今後自分たちで何ができるかを検討されている。今後の活性化の議論にどのように結びついていくのか楽しみにしている。

6. その他

- ・次回会議の開催日時は、9月25日（水）19:00～20:30、河西会館にて開催。

第3回河西学区会議の様子



2. 第3回学区会議の意見まとめ

地区のまちづくりの課題や方向性をまとめた。

<河西学区のまちづくりの課題>

■ 人口減少や少子高齢化が進み、地域間で人口バランスが崩れている

- ① 高齢化により行事や自治会活動に影響が出ている。地区によって、高齢化や人口の増減に差があり、子どものいない地区もある。

■ 地域活動や行事の担い手・人材が不足

- ② 若年層の地域離れや高齢化により地域活動の参加者・担い手が不足し、青年団がなくなった地区もある。また、地域団体の横のつながりがない（自治会とPTA等との連携がない）。

■ 自治会への関心低下や高齢化等で活動に支障が生じている

- ③ 高齢化や新住民、若年層の自治会への関心低下により自治会運営に支障が出ている。個人情報保護で、入退去や電話番号等がわからないのも大きな要因になっている。

■ 新旧住民・世代間の交流が希薄化

- ④ 宅地開発が進み新しい世帯が増えてきているが、新旧住民のつながりが希薄である。また世代間のつながりもなくなってきている。

■ 世代や地域を越えて集まる場所・イベントが不足

- ⑤ 若年層を対象とした行事がない。祭りや行事があっても、地区外の人参加が少ない（県外にもアピールが必要）。誰もが参加したいと思うような内容のイベントが必要ではないか。

■ 公園・道路整備や開発のバランスを考える等、生活環境の整備が必要

- ⑥ 子どもを自由に遊ばせる公園が少なく、人が集える大規模な公園がない。
⑦ 学区内に市街化区域と調整区域があり、開発のバランスが悪い。道路が狭いところがあり、交通渋滞の発生や、交通安全の確保が難しくなっている。

■ 妙蓮や遺跡等の『たからもの』の活用・保全が不十分

- ⑧ 湧水・庄屋屋敷・旧野洲川跡など、『たからもの』が語り継がれていない。また、近江妙蓮や遺跡等のPRや説明看板が必要ではないか。学区だけでは数ある資源を活かしきれない。

■ 水資源・ホタル・桜・古木の保全が必要

- ⑨ 川戸や地区内の川、桜、ホタル等を復活・保護していく必要がある。

■ 水害対策等の防災の取り組みが不十分

- ⑩ 住宅開発等で田畑がなくなってきて、治水問題が多発している（床下浸水・田畑冠水）。
⑪ 若い人がおらず、住民のつながりが希薄になっているため、災害時の要援護者対策に問題が生じる。

■ マナーが悪い、生活ルールの遵守ができていない

- ⑫ 小学生や中学生の道徳マナーの悪さが見られるが、指導方法が見つけにくい。
ごみ出しのルール違反や生活騒音問題も一部で見られる。

■ 職場が少ない・商店がない・後継者不足等、地域の活力が低下している

- ⑬ 学区内に職場が少なく、若者の職が見つからない。また、農業の後継者も不足している。

2.1 地域のまちづくりの課題、方向

学区の課題	具体的な内容	方向性・解決策
人口減少や少子高齢化が進み、地域間でバランスが崩れている	高齢化 64 歳以上 28%、みんなそろって高齢化している（河西ニュータウン）	
	高齢化率 34.6%（布施野）	
	老齢化率が年 2～3%で向上している	
	高齢化率 27.5%、新しい人が入ってこない（中）	
	老人世帯が増加している	
	敬老会 70 歳以上が 90 人いる（高齢化率 33.3%）（川中）	
	高齢者の増加	
	高齢化率 40%で、自治会の行事運営に支障が出ている（河西ハイム）	
	自治会の高齢化が進んで自治会行事に支障がでてい→なり手がない。美化作業	
	高齢者を対象とする行事が多い（河西ハイム）	
	老人ホームが多く、高齢化が進んでいる	
	子どものいない地区有	
	小学生が 2 人（布施野）	
	若い夫婦が引っ越して来ない	
	子供の友達がいない	
	住民の高齢化（子供が少ない）（川中）	
	高齢化地区、若年者地区	
	人口の増加地区と減少している地区がある	
	超高齢社会への対応	
	老人クラブ（任意）→老人会対象に市の交付とかをする	
ニュータウン型は土地がない		
新旧住民の融和に支障		
高齢者は時間・お金がある		
農家・長男は地域に残るのが当たり前だった		

学区の課題	具体的な内容	方向性・解決策
地域活動や行事の担い手・人材が不足	男性の参加率低い	○ その他行事の改革 ○ 負担が少ないように
	行事に参加者が少ない	
	担い手不足	
	高齢化を見据えた行事を計画（河西ハイム）	
	住民の高齢化により行事のマンネリ化	
	高齢の1人暮らしも徐々に増えて、参加は難しい（行事・当番）	
	関東から引っ越してきましたが、守山は住みよいところなので、誇りを持ってよいと思う	
	リーダー的存在がない	
	地元の行事、市の要望が多い	
	ボランティアは増やせない	
	神社の行事の維持（継続的な取り組みをすることが必要）	
	自治会が大きすぎて1人1人へのサービスが希薄になっている（播磨田）	
	自治会、まちづくり推進員などへの役員の成り手がなくなってきた（65歳定年で、引き継ぎができない）	
	運動会の内容、幼児と高齢者共通の内容について	
	動ける人間に役回り（青年団、老人会など）が集中してしまう	
	それぞれの団体（PTA等）が独立している→横のつながりが無い	
	若い方の地域離れ	
荒身では青年団がなくなった		
若いお嫁さんは2世帯（3世帯）で住むことを嫌がる		

学区の課題	具体的な内容	方向性・解決策
新旧住民・世代間の交流が希薄化	新住民との交流が希薄	
	新住民が多く（若い人が多い）自治会役員等を避ける人が多い	
	新旧世代間の交流具合に濃淡がある	
	旧住民と新住民とのコミュニケーションが取りにくい	
	旧住民の方はお年寄りの方が多い、役職、役員が少ない	
	新しい世帯が増えてきている（小島）	
	新住民とのつながりが少ない（小島）	
	宅地開発が進んできている（人口増加）	
	限られた人しか公民館に来ない	
	世代間のつながりが無い（河西ハイム）	
	若年層が自治会活動に関心がない	
	自治会行事への参加が少ない	
	お祭りだけは参加する	
	交流しているようには見えない	
世代や地域を越えて集まる場所・イベントが不足	若年層（40歳代まで）を対象とした行事がない	<ul style="list-style-type: none"> ○ 河西区民の集いのような大きなイベントを誰もが参加したいと思う内容を取り入れる（人を集める） ○ 若い人にも来てもらう事業（川中クールシェア） ○ 公民館をおしゃべり場に。男の人はお酒がないと来ない。
	自治会活動に子供達（小～高・大）の参画	
	高齢者向けの行事と同様に若年層向け行事が必要	
	県外から人が集まるアピールの仕方が悪い	
	祭り、行事はたくさんあるが町内だけで楽しんでいるように思う	
	会館でお年寄りとお母さんが連れてきた子供が交流しているが、これを続けていかなないと離れてしまう	
	噂で交流の話が広まると人が集まってくる	
	地域での居場所がない	
	昭和30年の風景のDVDを流した。嫁いできた時の写真などを流す（中）	
	ふるさとづくりで夏祭りは同窓会になる	
	駐車場の整備	

学区の課題	具体的な内容	方向性・解決策
公園・道路整備 や開発のバラン スを考える等、 生活環境の整備 が必要	人の集まらない公園！！	○ 河西中を桜に！川のそばに桜。各戸に桜。遊休地に桜を植える。
	道に集まる公園づくり	
	公園を活用しにくい	○ 出来るところからまた家を建て直す場合など市として方向性を示す
	公園利用時に規制が多い（ボール遊び禁止）	
	子供の健全育成	
	子供を自由に遊ばせる公園が少ない	
	8年前は子供さんが40名、現在は175名。	
	大げさだがニューヨークの様なセントラルパークの様な大規模公園がほしい→色々な人が集まる（老人ホールの人、幼児と母親など）	
	四年計画を！	
	学区の中で市街化区域と調整区域とがあり学区全体としてはバランスが悪い	
	開発の差が大きい	
	高齢化。市街地へのアクセス	
	交通渋滞の課題	
	幹線道路が不備	
	新住民道路幅6m、旧住民は昔の道の幅2m。（学童）登校での道が曲がり曲がりのため危ない所が多い	
	旧の道路が狭い中、車が増えて町内の交通安全が確保しにくくなっている	
道路幅（狭いところが多々ある）		
交通の不便さ、 堅田から琵琶湖大橋の下を守山駅とつなぐ（人が集まる）		
お墓が近くにない		

学区の課題	具体的な内容	方向性・解決策
妙蓮や遺跡等の『たからもの』の活用・保全が不十分	近江妙蓮を国の天然記念物に指定	○ 例えば福井県南越前町はすまつり6万5千人集客
	花は季節がある	○ 遺跡のまちになる！
	喜多の桜	○ 近江妙蓮を中心に全国的な蓮を集めて公園の整備
	学区だけでは数ある資源を活かしきれない	○ 芦刈園（あじさい）とリンク
	PR不足	○ 一本松史跡公園の活用？
	遺跡の説明看板が必要	○ 遺跡の所在のPRを活発に（内容のPRも）
	旧野州川の跡が失われている	
	鳩の森のホタルの飼育がなくなって人が少なくなっている	
	湧水があったことを知っている人が少ない。	
	このままだと現状がスタンダードになる	
	自分の街を語れない。自分の街を知らない。	
	庄屋屋敷の柱が残っていたが住民はそのことを知らない	
水資源・ホタル・桜・古木の保全が必要	川の水が流れない時がある（せつかく稚魚が生息したのに死んでしまう）	○ 魚釣りポイントとしての野州川の活性化
	河川の汚れ（川中）	
	ホタルがもたらす自然-自然に増えているのでうまく続ける。必要以上に草刈などをしない。	
	川戸の水源、旭化成からの水量が？	
	3本の川があり、全ての川で魚が採れる（川中）	
	ホタルの復活、保護	
	淡墨桜・古木がいつまであるか？	

学区の課題	具体的な内容	方向性・解決策
自治会への関心低下や高齢化等で、活動に支障が生じている	若年層が自治会活動に関心がない（布施野）	○ 自治会加入を守山市民となれる必要条件として市からの指導
	河西学区は若い人が来ているところ、高齢化ばかりしているところと分かれている	
	高校から自治会に関わる仕組みや居場所が無い	
	新住民は若い会社勤めの方ばかりで自治会の行事が難しい	
	自治会員以外のマンション所有者への自治会活動の徹底	
	新しい住民が自治会に加入しない	
	入退去情報を自治会長へ連絡（マンションも）	
	住宅地図の変更を速やかに自治会長へ連絡	
	加入しない人が増えれば活性化には逆行	
	自治会には強制力が無い	
	個人情報保護法の行き過ぎ	
	表札の無い家の解消	
	自治会名簿に電話番号の表示	
	アパート住民が自治会費を払わない。自治会費（中：2,000円、川中、小島など1,000円）	
自治会費を払わない家の解消		
自治会活動の衰退につながる		
高齢化・自治会運営に支障		

学区の課題	具体的な内容	方向性・解決策
水害対策等の防災の取り組みが不十分	田・畑がなくなってきて治水問題が多発している	○ 防災・緊急対策として里道、4m道路に変更させる条例制定
	床下浸水が発生	
	ゲリラ豪雨、田畑冠水	
	法竜川の氾濫！！	
	新たな住宅開発が原因！	
	若い人が昼も夜もない	
	災害時の要援護者対策—助けられないかもしれない	
マナーが悪い、生活ルールの遵守ができていない	小学校・中学校の道徳マナーが悪い	
	指導方法が見つけにくい	
	早朝の雨戸の開け閉めは静かに気配り、気遣いの出来るうちに！	
	瓶、缶類は前日の15:00～20:00の間に出すこと	
	早朝のゴミだしは禁止、騒音対策	
職場が少ない・商店がない・後継者不足等、地域の活力が低下している	職場が少ない（働くところが少ない）	
	若者の地元で職が無い	
	農業の後継者が不足	
	商店、コンビニが自治会内にはない（布施野）	